

自動翻訳シンポジウムについて

- 総務省・NICT等では、世界の「言葉の壁」をなくし、グローバルで自由な交流を実現するため、**多言語翻訳技術の研究開発と社会実装**に取り組んでいる。
- その一環として、多言語翻訳技術の現状や今後の方向性について**幅広く発信するためシンポジウムを開催**しており、本年度は**令和4年3月11日**に「**第5回自動翻訳シンポジウム**」開催。（1月20日報道発表）
- 申込み → 自動翻訳シンポジウムウェブサイト <https://jido-hon-yaku.jp>

開催概要

- 日時** 令和4年3月11日(金) 15:00～17:00
- 場所** オンライン開催（Zoom & Youtube同時配信）
- 主催** 総務省、NICT、
グローバルコミュニケーション開発推進協議会
- 参加者** 定員1,000名程度（事前登録制・参加費無料）

本年度は、昨年度まで実施していた次のシンポジウムを統合して開催

自動翻訳シンポジウム
2017年度から実施／総務省・NICTが主催／昨年度参加者は約700名

グローバルコミュニケーションシンポジウム
2015年度から実施／グローバルコミュニケーション開発推進協議会が主催／昨年度参加者は約200名

プログラム内容

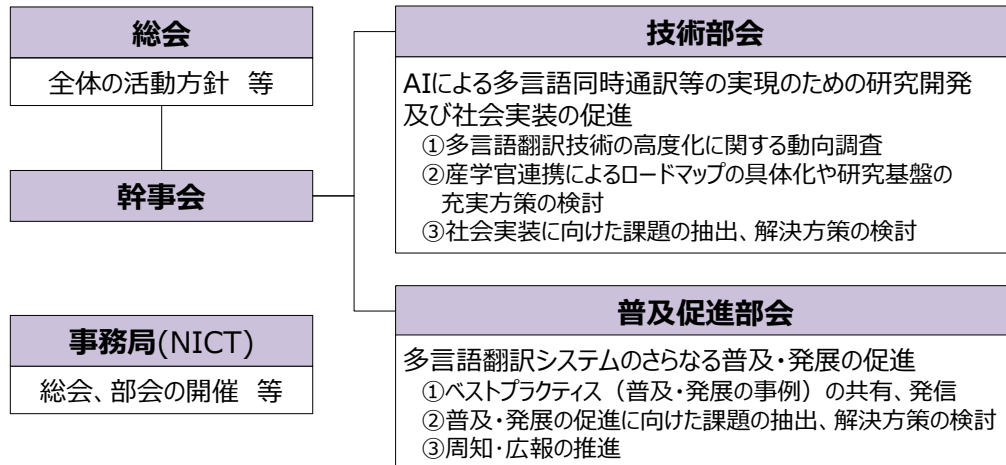
（敬称略）

開会挨拶	グローバルコミュニケーション開発推進協議会 会長 須藤 修
主催者挨拶	総務大臣 金子 恭之
基調講演	Software 2.0とデジタルトランスフォーメーション 株式会社Preferred Networks PFN Fellow 丸山 宏
講演	自動翻訳の素材を蓄える翻訳バンク NICT フェロー 隅田 英一郎
パネルディスカッション	2025年に向けた多言語翻訳の将来展望 モデレーター：NICT 上席研究員 内山 将夫 株式会社Preferred Networks PFN Fellow 丸山 宏 株式会社インターグループ 常務取締役 山畑 征四郎 ソースネクスト株式会社 常務執行役員兼CTO 川竹 一 マインドワード株式会社 代表取締役CEO 菅谷 史昭
閉会挨拶	NICT 理事長 徳田 英幸

(参考) グローバルコミュニケーション開発推進協議会

- 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）を中心に産学官の力を結集し、世界の「言葉の壁」をなくし、グローバルで自由な交流が実現するため、平成26年12月に設立。
- 2025年の日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据え、AIによる「同時通訳」を実現し、その社会実装を目指すなど、多言語翻訳技術の更なる高度化に向けた研究開発等を推進すべく、令和2年3月に総務省が策定した「グローバルコミュニケーション計画2025」を産学官連携によるオールジャパン体制で推進。

組織体制



NICT（先進的音声翻訳研究開発推進センター）

- AIによる多言語翻訳技術をはじめとする高度な自然言語処理技術の研究開発及びこれを支えるAI研究基盤の整備
- ①先進的な研究開発の実施及びロードマップの作成
 - ②エンジンの開発、提供
 - ③コーパスの整備、モデルの提供
 - ④技術ライセンスの提供

メンバー

222会員（2021年12月時点）

会長

中央大学国際情報学部 教授/東京大学大学院情報学環 特任教授 須藤 修

副会長

日本電信電話株式会社 常務執行役員 研究企画部門長 川添 雄彦
凸版印刷株式会社 常務執行役員 中尾 光宏
国立研究開発法人情報通信研究機構 理事長 徳田 英幸

幹事

株式会社インターグループ 常務取締役 山畑 征四郎
株式会社ATR-Trek 代表取締役社長 深田 俊明
KDDI株式会社 技術統括本部長 取締役執行役員常務 吉村 和幸
コニカミルタ株式会社 常務執行役員 武井 一
ソースネクスト株式会社 取締役 専務執行役員 藤本 浩佐
ソニーグループ株式会社 執行役員 R&Dセンター 副センター長 玉井 久視
東芝デジタルソリューションズ株式会社 取締役 竹本 潔
奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター長 中村 哲
日本電気株式会社 サービスプラットフォーム事業部 事業部長 平井 真樹
日本放送協会 放送技術研究所 所長 今井 亨
パナソニック株式会社 執行役員 CTO 小川 立夫
株式会社日立製作所 執行役専務 社会ビジネスユニットCEO 永野 勝也
株式会社フィート 専務取締役 浜田 洋
フェアリーデバイス株式会社 代表取締役 藤野 真人
富士通株式会社 執行役員常務 原 裕貴
マインドワード株式会社 代表取締役COO 小林 照二
ヤマハ株式会社 常務執行役員 川瀬 忍